

支部ニュース

S T R E E T VOL.363 2026年(令和8年)7月1日発刊

発行者 一般社団法人 北海道建築士会札幌支部 中央区大通西5 大五ビル 6F
TEL:011-232-1843 / FAX:011-222-0924 E-mail:hksj@h-ab.com <http://h-ab.com/sapporo/>

◀ 事業委員会からのお知らせ ▶

☆令和8年『二級建築士製図受験者講習会』開催します！WEBでの参加も可能です！

■開催日

- 第1回 8月1日(土) 9:30~17:00 *申込方法など詳細は添付のチラシをご覧ください。
- 第2回 8月8日(土) 9:30~17:00
- 第3回 8月22日(土) 9:30~17:00
- 第4回 8月29日(土) 9:30~17:00
- 第5回 9月5日(土) 9:30~17:00

■会場/定員 /

札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル 2階会議室/定員10名

■受講料

- 全5回受講: 45,000円(士会会員)、55,000円(士会会員外)
- *1回選択受講: 10,000円/回(士会会員)、12,000円/回(士会会員外)

◀ 本部からのお知らせ ▶

☆北海道建築士会ホームページ“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！

■視聴方法: 北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■7月パスワード: Otr069

◀ 札幌支部クラブ活動の報告 ▶

- ・グルメの会 第10回は、8/初にクラフトビールの「月と太陽ブルーイング」です。一緒にいかがですか？
- ・ボウリング部 次回例会は？ 日程調整中。
- ・カーリンコン部 道協会例会、7/11(土)13時、7/25(土)13時「かでの2・7」、9/9(水)札幌で全国大会。
- ・登山・ハイク部 次はどこに登りましょうか？8月で日程調整中です。
- ・そば部 第4回手打ちそば講習は、新そば粉が出た後(9月頃?)に行います。
- ・映画鑑賞部 次回は9/初に「コロンバス」を予定。
- ・ダーツ部 例会は6/3(水)に行いました(写真参照)。
6/14(日)の大会で谷さんサイドイベントに参加。次回は8/26(日)予定。
- ・発酵食品作るぞークラブ 6/7(日)クラフトビール勉強会開催しました！(写真参照)
会場 澄川麦酒 ビアパブ・ひらら
講演 澄川麦酒 齋藤泰洋氏
味噌ベースのクラフトビール試飲会を6/26(金)に開催しました。



【ダーツ部 6/3 例会】



【発酵食品つくるぞークラブ 6/7ビール勉強会】

☆皆様も土会仲間でクラブ活動しませんか！ 参加者随時募集中

■クラブ活動のページはこちらから⇒ <https://h-ab.info/sapporo-club/>

◀ 北海道建築指導センターからのお知らせ ▶

☆『令和 8 年度 7 月住宅講座のご案内』

■日 時： 令和 8 年 7 月 31 日(金)14:00～16:00

■定 員： 40 名 ■参加費： 無料

■会 場： かでる 2・7 7 階「730 研修室」（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

■テーマ： 「暖房機器・エアコンの選び方」

～夏も冬も快適に過ごすための設備について～

■概 要： 寒冷地の住宅では、暖房のエネルギー消費が避けられません。

また、温暖化の影響で北海道の夏も年々暑くなり、エアコンが欲しくなっています。

夏も冬も快適に過ごすための、断熱の必要性や、暖房機器・エアコンの選び方についてお話しします。

■講 師： 奈良 顕子 氏

(有)奈良建築環境設計室 室長(札幌市)

(一財)北海道建築指導センター 住宅相談員

■主催/お問合せ： (一財)北海道建築指導センター 企画総務課 TEL 011-241-1893

■申し込み方法： 案内チラシの右下 QR コードから Google フォームによりお申し込み、またはお電話、FAX でお申し込みください。

■案内チラシはこちらから⇒ [7 月住宅講座チラシ](#)

※一般消費者向けの講座となっておりますが、事業者の方の参加もお待ちしております。

◀ 札幌支部賛助会員からのお知らせ ▶

☆エスケー化研株式会社・札幌支店からのお知らせ

(建築塗料・建築仕上げ材の総合メーカーです)

・建築士会講習会に関するアンケートを作成いたしました。

ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

<https://forms.gle/E2QjW3PGCW51xq1b7>

・新製品情報：グラニテイラーEX ストーン 2026 年 4 月上市

日本各地で親しまれてきた建築用石材をモチーフにした新シート建材

<https://www.sk-kaken.co.jp/nfd/products/item/granitailor/#ex-stone>

担当：札幌支店 佐藤拓実 TEL 011-784-4000

会社 URL：<https://www.sk-kaken.co.jp/> e-mail：t.sato06@sk-kaken.jp

<次ページに「失敗から学ぶ」VOL50 掲載しています>

『失敗から学ぶ』 VOL.50 《躯体工事》

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

■土間コンクリートの下部にすき間

既設工場の床がひびだらけなので調査をしたら土間コンクリート床下の地盤が沈下し空間が発生していた。
※接する地面の支持を前提にした土間コンクリートの床はローコストにすることができます。

ただし将来地盤が沈下して土間下に空間が生じた場合は支持力不足になりひび割れが発生することがあります。

沈下する恐れのある地盤に積載荷重が大きくハードに使用する工場や倉庫などを建設する時は基礎梁や基礎で支持するスラブ構造を推奨します。

■人通孔にしたら大幅なコストアップ

意匠的に床下点検口が気になり床下の点検は人通孔として設計したら大幅なコストアップになった。

※基礎梁を人通孔600φが貫通する場合は構造計算で梁成1.0mで良いものが人通孔径3倍の梁成1.8m以上必要になります。掘削+発生土処分+躯体のコスト増+工期が増えます。

意匠かコスト・工期のどちらを優先するか設計者の総合的で合理的な判断が必要です。

■構造フレームが設備配管ルートを制限

1階床下配管ピットの小梁方向を設備設計者と協議しないで計画したら配管ルート不足で見直した。

※床下には雨水排水、給排水、暖房配管等多くの配管ルートが必要であり意匠設計者は設備設計者および構造設計者と協議をして構造フレームの計画が必要です。

特に意匠設計者は梁貫通孔の設置ルールを理解して小梁割付・方向を計画することがポイントです。

また床下配管ピットの有効高さは作業可能か？配管勾配は確保できるかななどの検討が必要です。

■1階床下に電動設備を設置したら使用不可

1階床下配管ピットに電動設備を設置したら湿気で錆びて使用不可になった。

※常時水位の高い地域や雪解け時期に地下水位が高くなる地域の床下配管ピットに電動設備機械などを設置する場合はピット内の防水・排水や換気が必要です。

自習型認定研修の設問



設問 1

躯体の床で正しいのはどれか？

- a. 土に接しているスラブを土間コンクリートと称している。
- b. 土間コンクリートと土間スラブは構造が異なる。
- c. 床下部が配管ピットの場合でも土間コンクリートで問題ない。

設問 2

床下点検で正しいのはどれか？

- a. 床下点検用の人通孔と床下点検口の併用はできない。
- b. 床下点検口は1区画に1か所以上の点検口が必要。
- c. 床下点検口の直下にある200φ以上の設備配管は点検時の足場として利用できる。

認定教材の設問への回答は、CPD 情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスのうえ、お願いします。
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。